

OITAサイクルフェスが国際レースになるまでの軌跡

▶平成17年10月
サイクルフェスタ
市の魅力を発信するとともに、自転車の魅力を多くの人に体感してもらうことを目的に開催。



▶平成24年5月
別大国道サイクル&ジョグ
サイクリングやジョギング、自転車教室などを開催。



▶平成25年6月
2013年全国自転車競技選手権大会
平成森林公園周辺の特設コースを使ったレース。この年のナショナルチャンピオンが決定した。

▶平成25年11月
別大ロードフェスティバル
国道10号（別大国道）を舞台に、タイムトライアルレースや選手によるトークショーなどが行われた。



▶平成26年11月
「OITAサイクルフェス」初開催
ロードレースとクリテリウムを開催。以降毎年、白熱のレースを展開してきた。



平成30年10月
OITAサイクルフェス!!!2018 開催

大分市が世界に誇る国際レースに

自転車の魅力を 大分から世界へ

大分市で毎年開催されている自転車にスポットを当てたイベント「OITAサイクルフェス」。市が掲げた「バイシクルフレンドリータウン宣言」をもとに、自転車の利用促進と魅力の発信に向けた取り組みの一つとして開催しています。白熱の自転車レースをはじめ、自転車教室やステージイベントなどが行われ、毎年県内外から訪れた多くの人でにぎわいます。5回目を迎えた今年は、国際自転車競技連合（UCI）公認の国際レースとなつて初めての開催となりました。

「バイシクルフレンドリータウン宣言」から「OITAサイクルフェス」の開催に至るまでに、市では「サイクルフェスタ」や別大国道を使った「別大国道サイクル&ジョグ」、「別大ロードフェスティバル」といったサイクリイベントを開催してきたほか、日本自転車競技連盟主催の「全日本自転車競技選手権大会」を誘致するなど、レースを含めた自転車事業の実績を重ねてきました。

そして平成26年11月、大分はこの道と大分スポーツ公園周辺に設置した特設コースを舞台に「OITAサイクルフェス」を初めて開催。九州で初めて全日本実業団自転車競技連盟（JBCF）が主催する「Jプロツアー」が誘致され、このレースがツアー最終戦であったことから、年間チャンピオンが大分市で決まるという記念すべきレースになりました。

“バイシクルフレンドリータウン” Bicycle Friendly Town 自転車にぎわうまち



生活に密着した交通手段として使われ、環境に優しく健康増進にもつながる自転車。市では「バイシクルフレンドリータウン宣言」を掲げ、自転車レースの開催やサイクリングコースの整備、マナーアップの啓発活動など、さまざまな取り組みを行っています。今回は、自転車を生かした市のまちづくりを紹介します。

